

ふるさと奥尻通信

平成24年11月30日
奥尻町教育委員会発行
事務局:01397-2-3890

海洋研修センターと稲穂ふれあい研修センターにて無料配布しています。奥尻町役場ホームページからもダウンロードできます。

巻頭語

島も北西風の割合が高くなり、時化で定期船が欠航する頻度も多くなってきました。いよいよ冬將軍が近づいています。人は追えば逃げるのに、年月はいやでも勝手について来る。いやだねえ。

特集 島くらべ② - 奥尻島と礼文島 -

前号は利尻島でしたので、今号では礼文島と比べてみましょう。ちょうど花の季節は過ぎてしまっていたのですが、どことなく奥尻島と似たような格好をした島でしたよ。

①玄関口は1つ 定期船は香深港に入港します。稚内からと利尻島からの2航路あり、便利です。かつては島の北部に礼文空港もありましたが、2003年以降休止中となっています。離島空港の搭乗率の低さはどこも共通のようです。

②漁村風景 道に迷って車で進んだ先に待っていたのは、どこか懐かしい風景でした。両側に家がはり出し、車一台通るのがやつの道。話で聞いていた、かつての奥尻島青苗の街並みを想像してしまいました。津波の前は奥尻もこのような(右写真参照)漁村風景だったのでしょ。すっかりノスタルジーに浸ってしまいました。

③岬めぐり 須古頓(スコトン)岬や澄海(スカイ)岬といった面白い名前の岬があります。この日は荒天で、とても荒々しい風景でした。西海岸の陰しさは、奥尻と共通のものがあります。

④歴史と文化 近年、青苗砂丘遺跡から出たオホーツク式土器が、礼文島の土を焼いた土器であったことが解りました。ということは、奥尻島青苗にたどり着いたオホーツク人は土器や石器を舟に積んで、はるばるやって来たのかな…? 海の道を利用した交易・交流があったことが想像され、奥尻島は”道の駅”みたいな位置づけだったのかもかもしれませんよ。



香深市街地



どこか懐かしい漁村風景

★町勢データの比較★

	奥尻町	礼文町	利尻島
面積(m ²)	142.98	81.33	182.15
人口(人)	3041	2890	5188
役場設置	明治12年	明治11年	明治13年
コンビニ	1	1	3



最北のスコトン岬



あつもん

⑤メノウ浜 奥尻では無縁島海岸が有名スポットですが、礼文にもメノウを拾える浜があります。その名もメノウ浜。よくよく探してみると、小さいながらも確かに拾えます。ここも時化た後に行けばたくさん見つかることでしょう。私、職業柄、下に落ちている物を探すのが得意です…。

⑥島の味覚 さて、岬めぐりをすると、先々にちょっとした土産物屋があります。そこではワンコインの食べ物が置いてあり、すぐに調理して出してくれます。ウニ丼もすぐにテイクアウトできる感覚が、やはり産地ならではの強みです。メニューにはタコ串焼き、エビ汁、焼きウニ、揚げいもなどがありました。

⑦ホッケ対決! 一番良かったのはホッケのちゃんちゃん焼きです。炭火の上にホッケの開きをのせて、裏から焼いていきます。味噌は頭の凹みに置き、焼けてきた尾っぽの方から混ぜていきます。ほぐれてくれれば火の通った証拠。徳利の首をつまんで食せばなおさら美味い! 奥尻のほっけの半熟と甲乙つけがたいですが、その手軽さからちゃんちゃん焼きに軍配が上がりそうです(個人的に)。



スコトン岬にて謎の看板が! ?



ホッケのちゃんちゃん焼き

”火事と喧嘩は江戸の花”というほど、江戸(東京)は火災の多い都市でしたが、これは木造家屋の密集する日本全国に共通する問題事項でした。奥尻も例外ではなく、大きな火災で言うと、古くは昭和7年の青苗大火、昭和38年の奥尻大火、平成5年の南西沖地震時の火災などが起きています。

火災時に活躍するのは、消防署員ですが、早期の鎮火には地元の消防団員の協力が不可欠です。そんな消防団の歴史は、江戸中期、火災時に火消人足出動を命じた大岡越前守の奉行令に始まり、享保5年(1720)に町火消「いろは四十八組」の成立と活躍が大きく影響しています。制度上は、明治5年に消防組、昭和14年に警防団、昭和22年に消防団と改組され、法の下で現在に至っています。

出動時に団員が身につけたのが、この刺子袴纏(さしこはんてん)です。生地を二重三重にして燃えにくく仕上げています。これは近現代のものですが、かつては、足には股引、頭には頭巾、手には鳶口を持っていました。消火設備の不十分な昔は、延焼を防ぐために建物を壊す「破壊消防」が主流でしたので、大勢の人員が必要でした。最近では、南西沖地震津波後の青苗の火災時に延焼を防いだ例があります。この時燃え残った地区が法隆寺のある一帯でしたが、ここは昭和7年の青苗大火で消失した地域とある程度重なっているようです。

火災は郷土の歴史や文化を一夜で消し去ってしまう大災害です。これからの厳冬期、ストーブや火の取り扱いには十分注意しましょう。



奥尻町消防団団員の刺子袴纏



奥尻大火時の消防活動 昭和38年

月刊 奥尻のつり 11月号

秋の釣りシーズン、ようやく魚群をキャッチしました! 今年はカジカがいいようです。海が荒れた日は、南東の松江港か北西の稲穂港へ行けばカジカが釣れる。これは鉄則です。すでに45cm~50cm級がバンバン釣れています。(ここだけの内緒ですよ)。また、カジカ以外にタコも出てくる、青苗港や宮津港もあなどれませんよ。



奥尻これなんだろう? 第8回

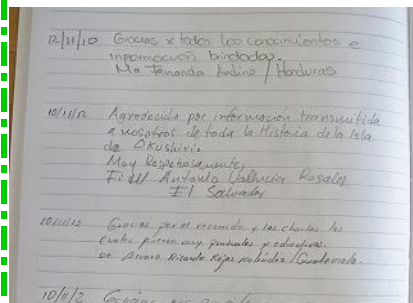
道路や空き地に盛られています。昆虫や種が混ざっているみたい。さてなんでしょう?

先月の答え: 防災科学技術研究所の強震観測施設



れ合頃なりどき真い季た島
るがはり、フかつ虫で。は十
そ多、ま乗エな黒でしち虫一
うくイし降りいにしたよの月
で、かた客しば。たがう大六
すイが。に入かまの、ど群日
。カ好例手港りつで羽雪に、
虫漁年荒時かた、の虫襲突
とで、いと、く空生のわ如
もあ雪敏重ち視はえ出れし
呼る虫迎なよ界一たるまし
ば場のと うが面黒時して

雪虫?の大群襲来!



コメントいただきました

し提す所加ま語ひ実夕館十てて
ま供るで護しでま相 | や四、十一
すし歴しにたコしやを稲名中 J 一
て史た満よメた島見穂来米 I 月
へいにーち。ン。の学ふ島か C 八
訳たつ、たート最歴しれしら A 日
阪だいー大奥を後史、あま防研 S
本きて奥変尻書は・津いし災修十
真感、尻美はいス文波研た担生日
由謝情島し神てペ化災修。当とし
美い報にのくイを害セ津者しか
ーたを関場御れん学ん波が け

中米から研修者来島

2年目の冬を迎えようとして
います。一年前をふり振り返り、我
が身と照らしても、さほど成長
もなく、進歩もしていないと感じ
てしまいます。充実した人生
のためには、時々、自己評価する
必要があるわけですが、反省
点ばかりが思い出されるのは、
困ったものです。「学芸員、いい
仕事したね」と言われるように
日々努力せねばなりませんね
(思考中のしんた)。

新米之記録(編集後記)

さ稲面いな史事と道面す岬火
い垣白きど・柄は南はるー北
。学いた、文があ地道こに欄海
芸情い上化多ま方南と学と道
員報で手・いりで限に芸エ新
まあすく民と知も定な員ツ聞
でり。情俗から、でりがセの
おま何報。れ奥すま原 | 一
知しか発自島て尻がし稿欄い
らた地信然のい島、たを一さ
せら元し環歴なの同。執立り
下、のて境 いこじ紙筆待

原稿依頼がきました



谷地に揚がった米軍ドラム缶 昭和20年代